

趣 旨 : 脱炭素社会構築への取組や小田原市気候変動対策推進計画の評価・見直しを行う上での基礎資料とすることを目的に、「地球温暖化」や「脱炭素」について市民がどのような認識を持っているか、また新たなライフスタイルへの関心や既に実施していることなどについて把握するため実施

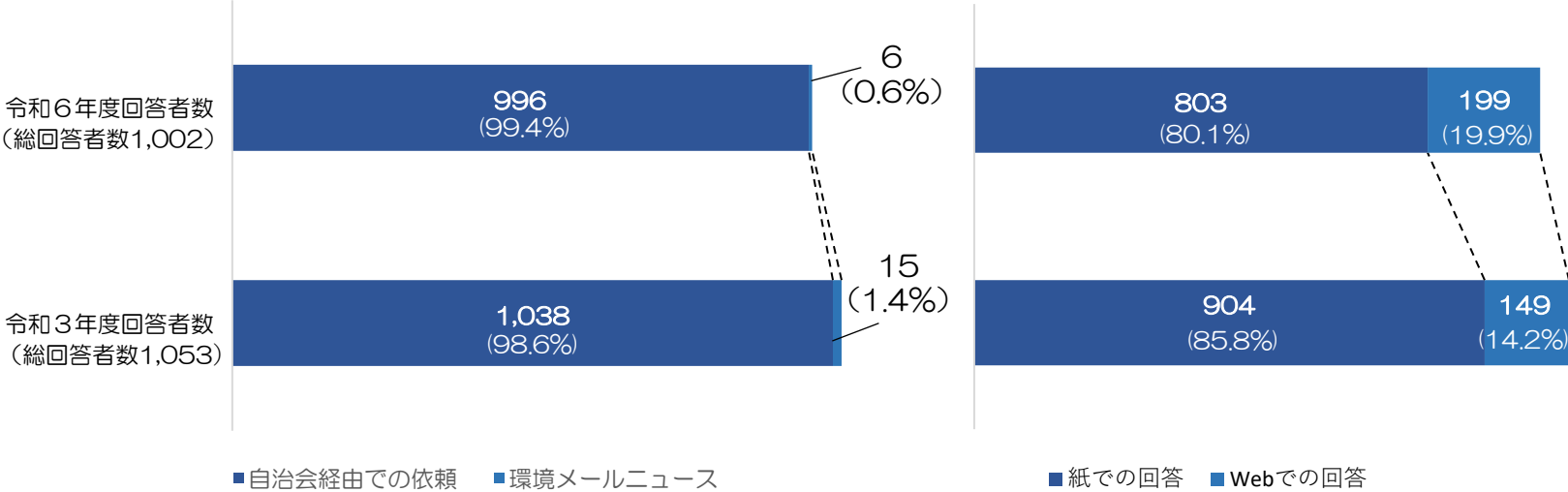
期 間 : 令和6年7月4日～8月1日

対 象 : ①市内在住の15歳以上の個人 ※自治会経由での依頼
②環境メールニュース受信者

方 法 : 紙またはWebアンケートフォーム

回答者数 : 1,002名
①996名※（紙回答803名、Web回答193名）
② 6名（Web回答6名）
※依頼人数1,250名、解答率80%

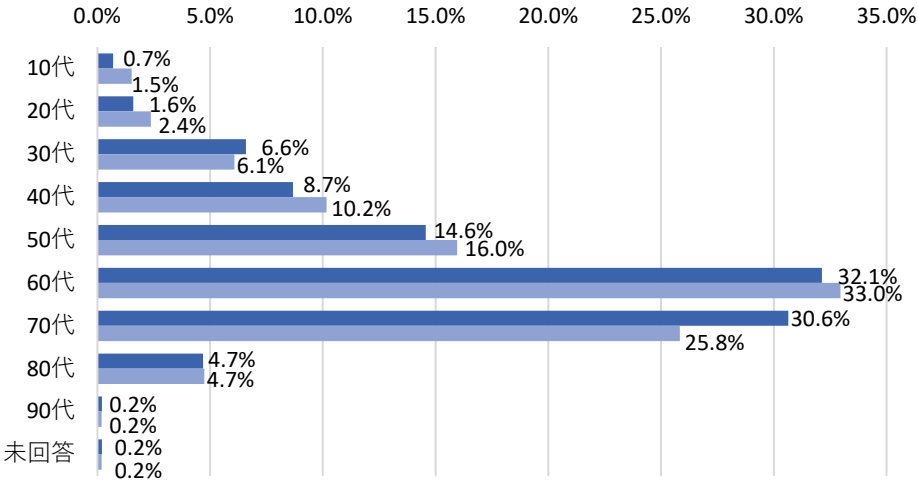
回答者内訳



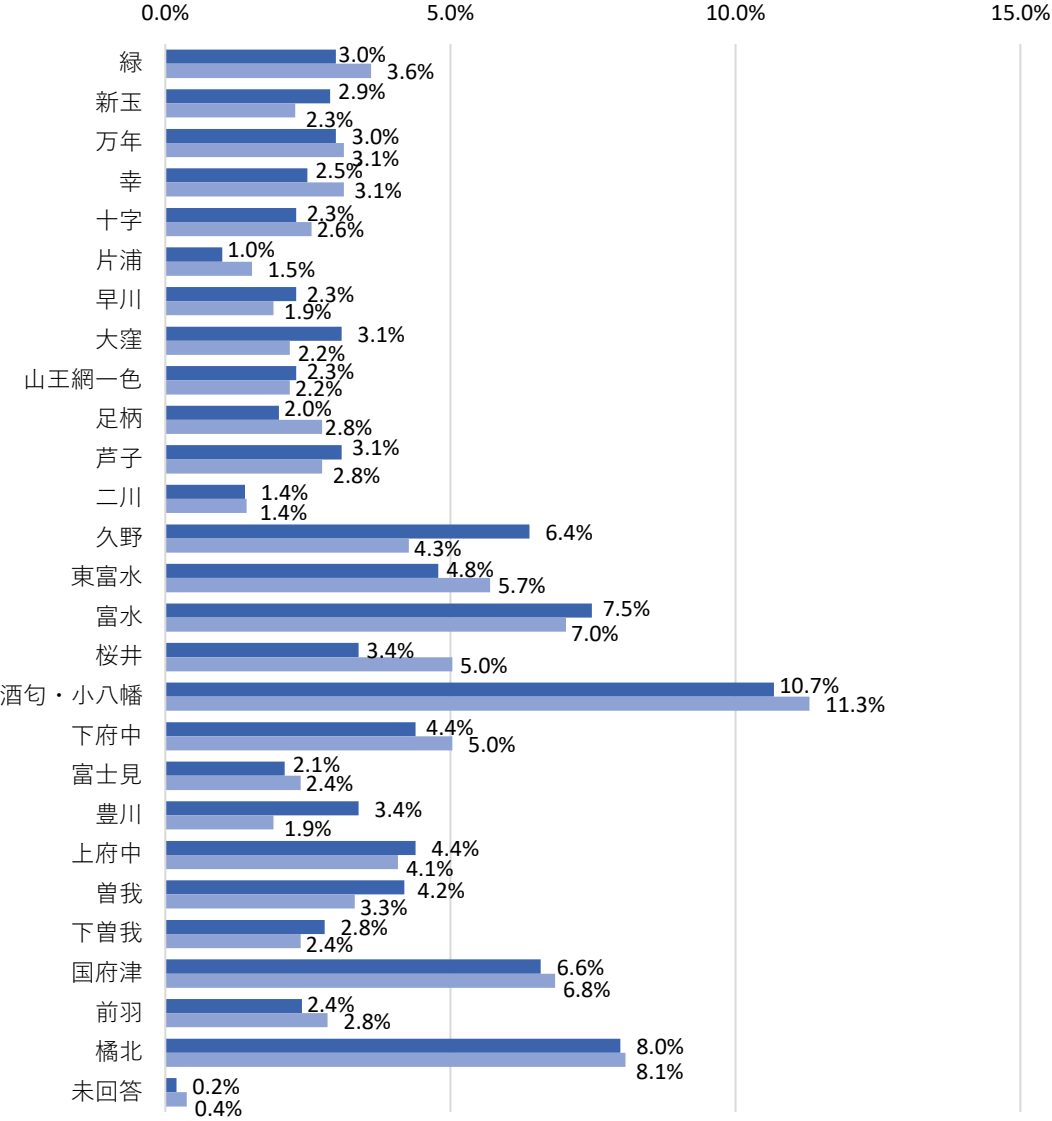
1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果

設問1 ご自身について、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

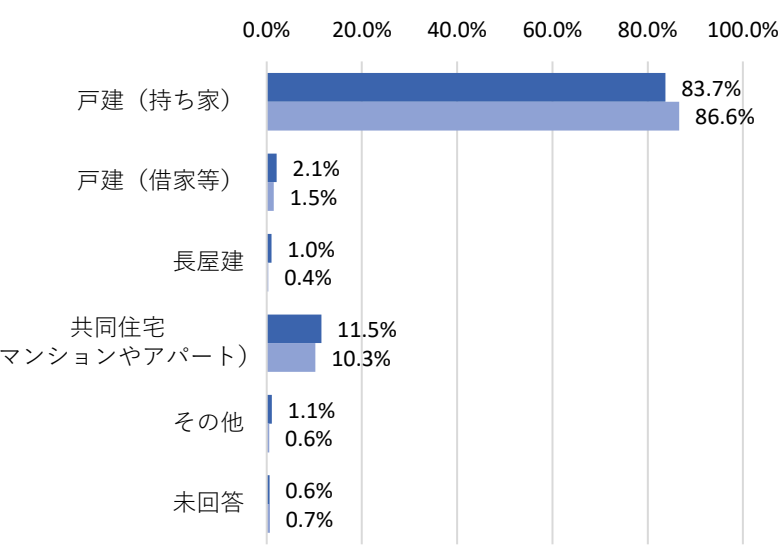
1-1 年齢



1-2 お住まいの地区

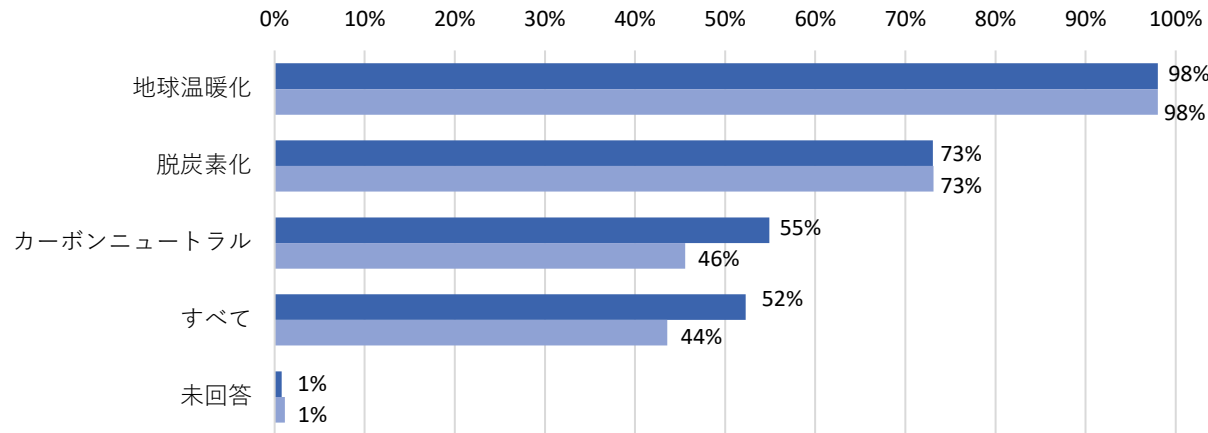


1-3 お住まいの住居

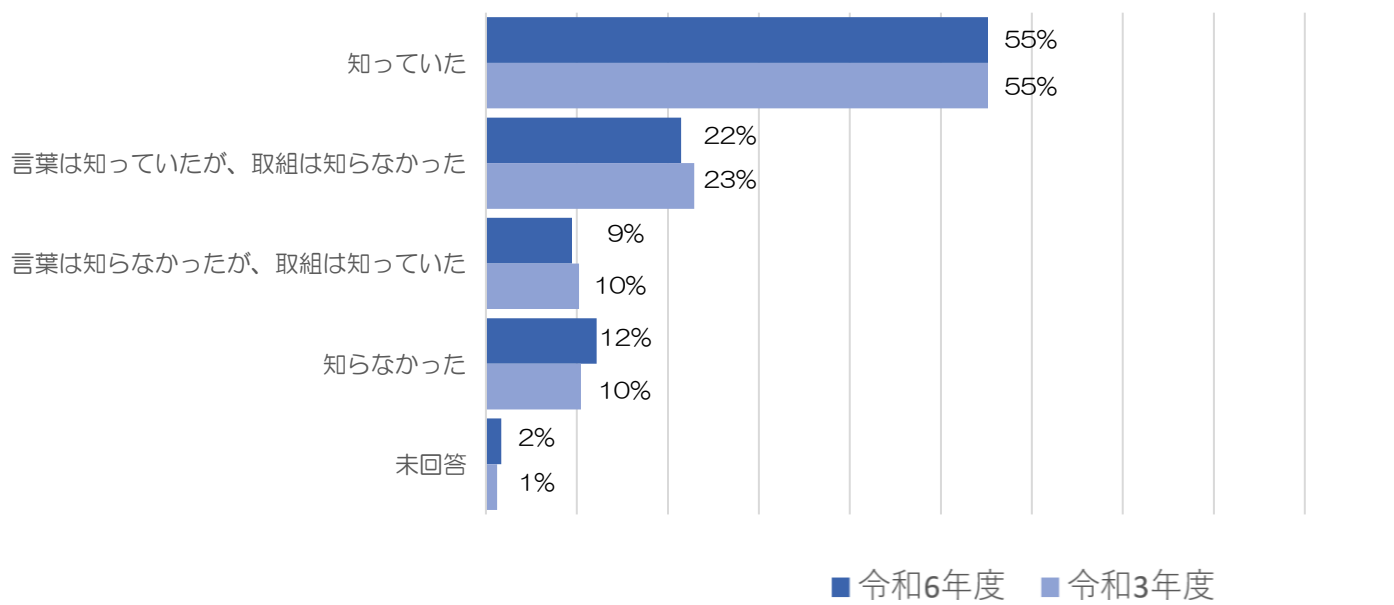


1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果

設問2 意味を知っている言葉はどれですか【複数回答可】

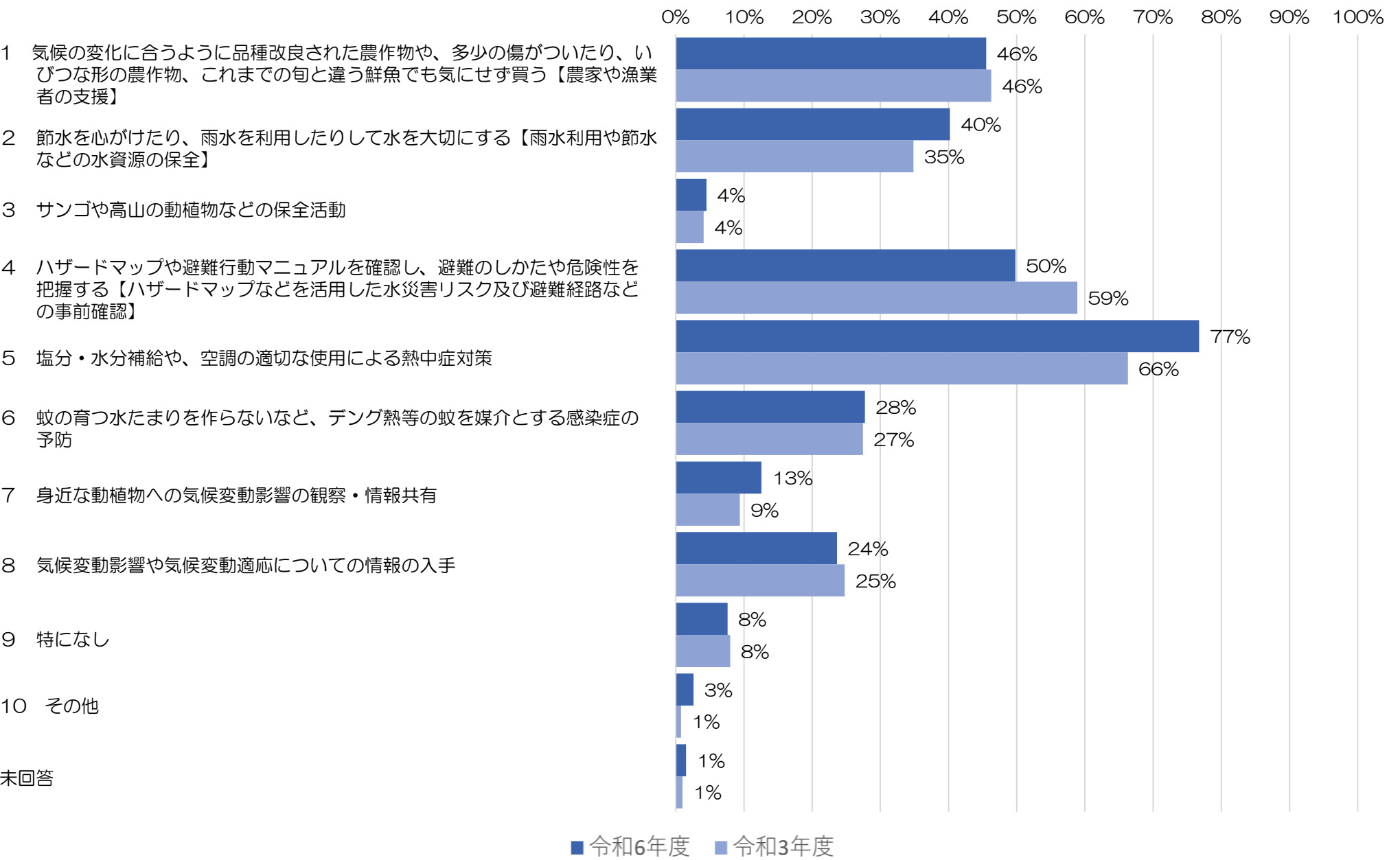


設問3 電気・ガス・ガソリンなどのエネルギーを使うと、温室効果ガス※が発生し、気温が上がるなどの気候変動につながります。気候変動の影響に対処することを「気候変動適応」といいますが気候変動適応という言葉やその影響を知っていましたか。
※温室効果ガス…大気圏にあり、太陽の熱を地球に留める働きがあります。



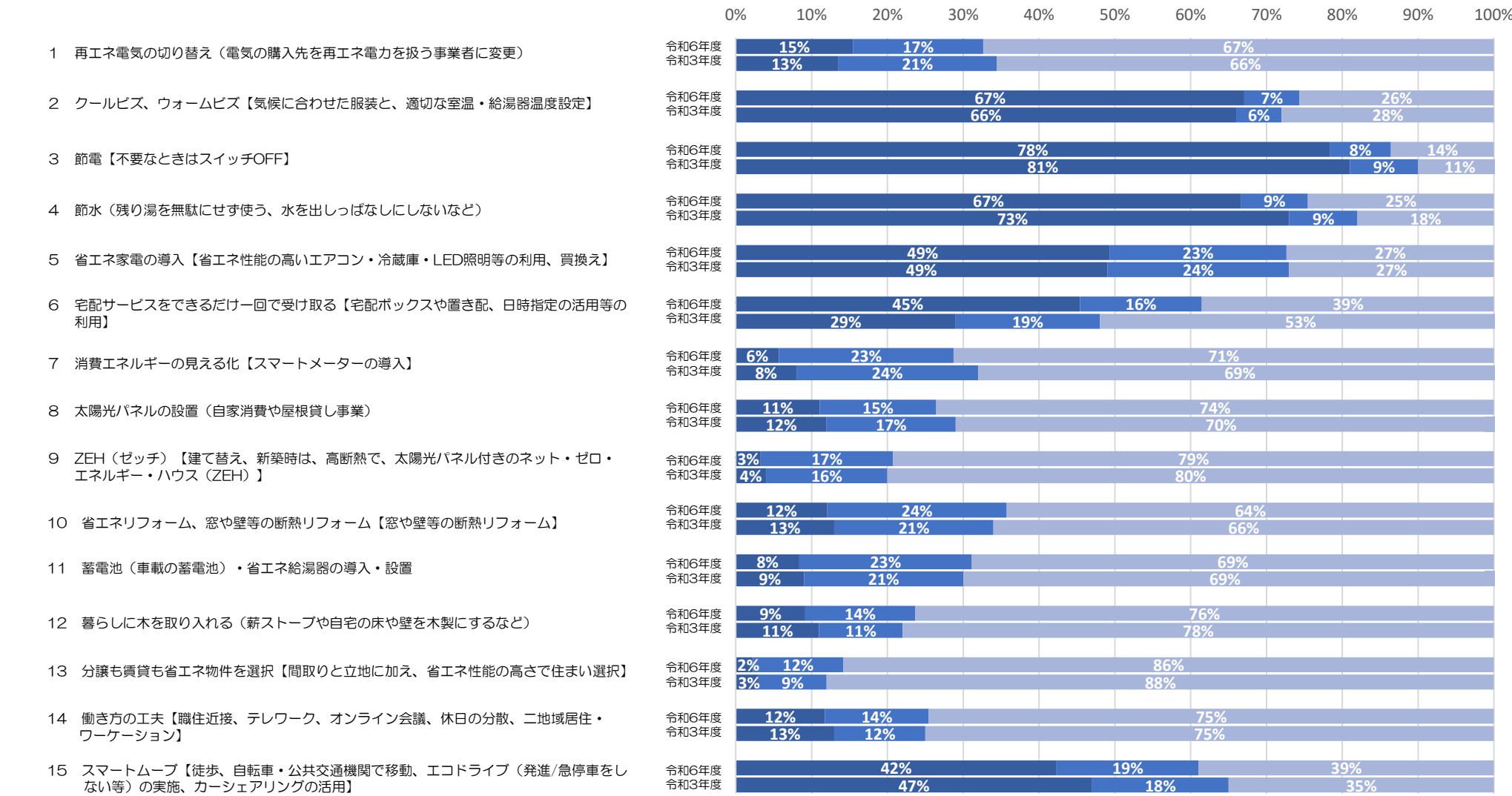
1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果

設問4 次の気候変動適応への取組のうち、現在実施しているものはありますか【複数回答可】

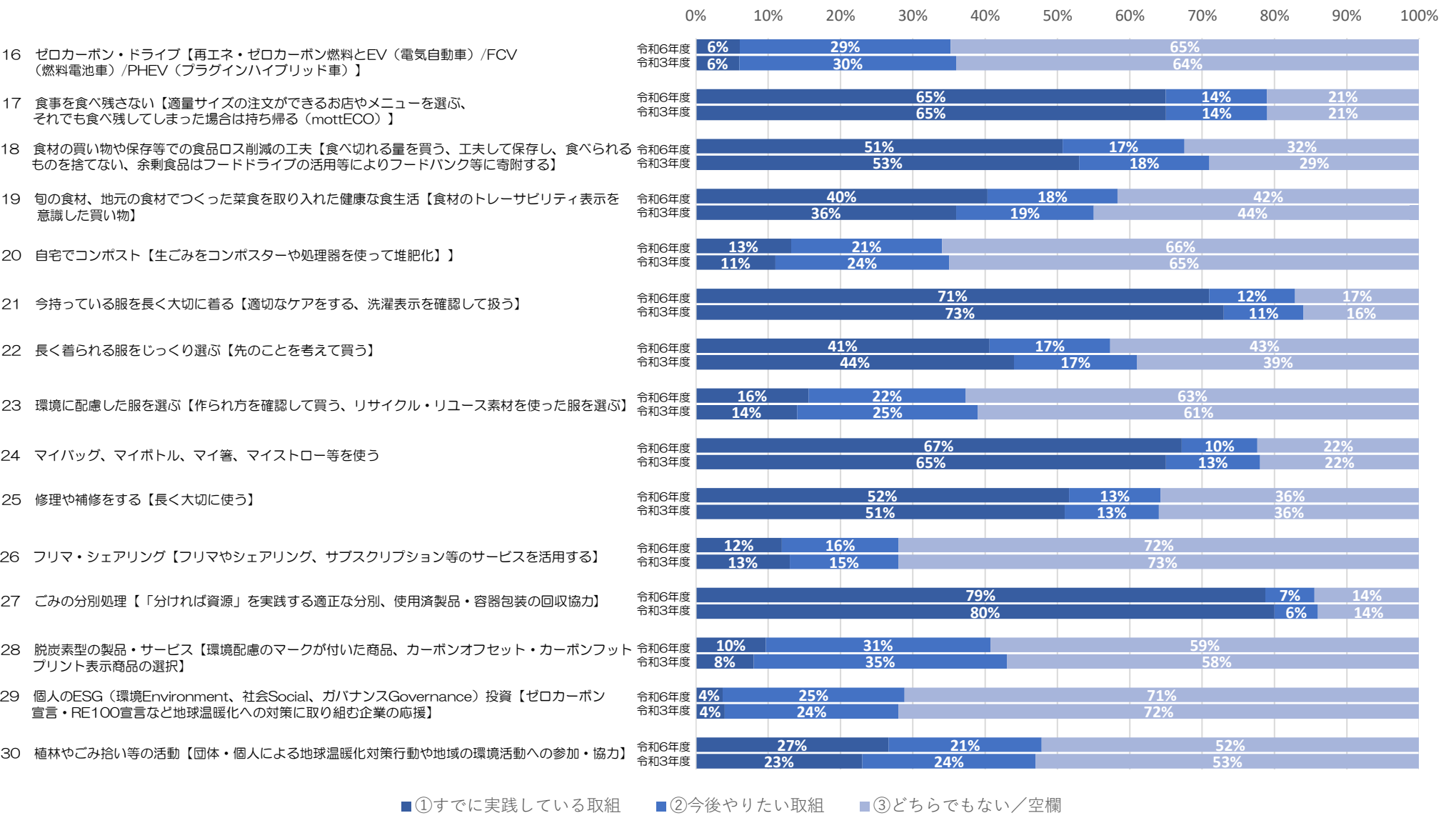


1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果

設問5 日常生活において、快適かつ脱炭素になる行動を「ゼロカーボンアクション 30※」と呼んでいます。①既に実践している取組、②今後やりたい取組はどれですか。（①②どちらでもない場合は空欄のままにしてください。）【複数回答可】
※2021年6月に取りまとめられた「地域脱炭素ロードマップ」では、衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを「ゼロカーボンアクション 30」として整理しています。

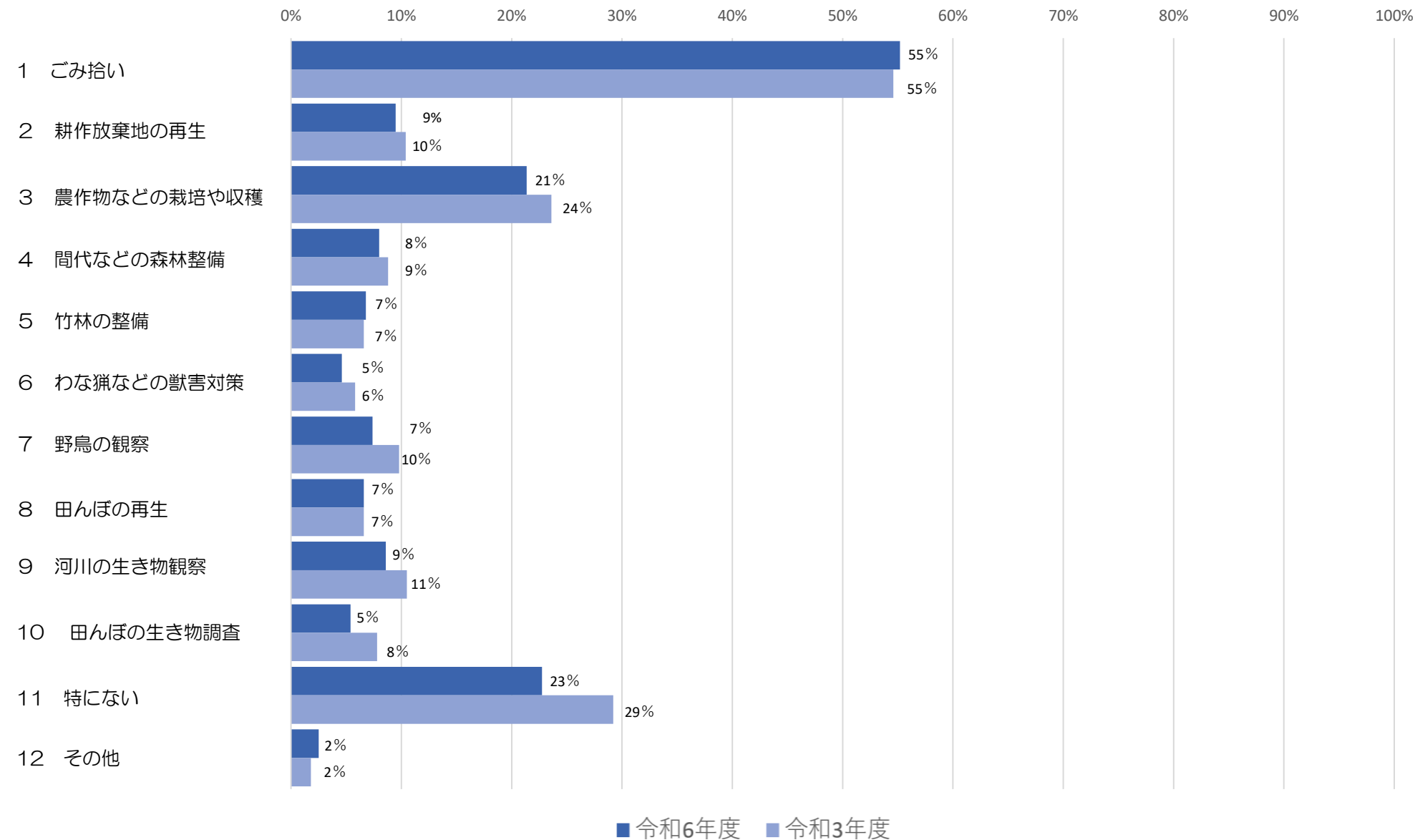


1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果



1. 地球温暖化等に関するアンケート アンケート結果

設問6 市内には様々な環境に関する活動を行っている団体がありますが、その活動に「参加したことがある」または「参加してみたい」ものはどれですか。【複数回答可】



2. 令和6年度小田原市市民意識調査 アンケート概要・結果（抜粋）

- 趣 旨 : 第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」の策定および進捗評価に当たり、本市の都市イメージや、施策に対する満足度・重要度の状況を把握することを目的に、令和4年度以降定期的に実施
- 期 間 : 令和6年4月25日～ 5月10日
- 対 象 : 住民基本台帳に記載されている18 歳以上の市民3,000 名（無作為抽出）
- 方 法 : 調査票を郵送後、郵便及びオンラインで回収
- 回収数 : 1,485票（郵送1,070票、オンライン415票）

当該調査の設問、『問29 あなたが、自然環境にやさしい生活のために行っていることは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください』において、『自然環境に関するイベント（地域の清掃や自然体験など）に参加』を選択・回答した市民の割合を、『小田原市気候変動対策推進計画年次報告書 P42 第5章 気候変動適応策 分野7 生活・文化の詳細指標』として使用

